

# 令和5年9月三田市議会定例会(第372回)一般質問発言通告一覧

(第4日・9月8日 個人質問)

## 16番 北本 節代 <一問一答>

### 1 市長の選挙公報の地域医療の充実について

(1) 市民病院の救急医療の現状認識について。

(ア) 厳しい現状をどこまで把握されているのか伺う。

(イ) 医師59名の要望をどう受け止めたのかを伺う。

(2) 医師確保策について。

(ア) 医師修学資金貸与制度の貸与状況をどこまで把握されているのか、選挙公約に掲げられている医師確保助成制度導入との違いはなにか伺う。

(3) 再編統合に関する基本構想について。

(ア) 急性期医療を守るために構築された三田市及び済生会兵庫県病院、神戸市との役割の必要性をどこまで理解されているのか伺う。

### 2 市長の農業に対する思いについて

(1) 選挙公約である「農業の担い手不足対策」について。

(ア) 市長は選挙公約や所信表明において、農業振興を図っていくには、担い手不足が大きな課題とされ、これまで以上に実効性のある施策を検討していくとされているが、市長の農業に対する思いを確認するとともに対策について伺う。

(2) 農業者が活用しやすい補助事業の取り組みについて。

(ア) 国・県補助事業の補助要件は厳しく、認定農業者等の担い手であっても採択を受けるのは容易でない。担い手も含めた多くの農業者が活用しやすい補助制度の充実が必要と考えるが、今後の支援の在り方について伺う。

## 8番 小杉 崇浩 <一問一答>

### 1 障害福祉施策について

(1) 監禁事件を踏まえての障害者の抱える課題の認識について。

(2) 「共生社会推進プログラム～障害のある人とともに～」の今後について。

### 2 ひきこもり支援について

(1) ひきこもりの現状認識について。

(2) ひきこもりのご本人及びご家族への支援体制について。

### 3 起業・創業支援について

(1) 起業しやすい環境の整備について。

(2) 社会的課題をビジネスにより解決を目指すソーシャルベンチャーの立ち上げ支援について。

### 4 若者のまちづくりについて

(1) 高校生、大学生によるまちづくりの機会の創出について。

(2) 市内高等教育機関との連携について。

### 5 市民活動支援について

(1) シビックプライドの醸成について。

(2) 市民活動支援のあり方について。

## 4番 木村 雅人 <一問一答>

### 1 小中学校の統廃合について

- (1) 市長の選挙公約である「小中学校の存続・少人数学級化の推進」は私たち会派がこれまで求めてきたことと一致するが、具体的にどのように進めるのか、市の見解を伺う。
- (2) 所信表明にある「子どもたちの意見を一番に尊重しながら」は私たち会派がこれまで「子どもの意見も聴くように」と求めてきたことと一致すると考えるが、具体的にどのように進めるのか、市の見解を伺う。
- (3) 八景・上野台中学校の統廃合について存続により両校の課題を解決する道はないのか、市の見解を伺う。
- (4) 富士・弥生小学校の統廃合は存続の道も検討すべきではないか、市の見解を伺う。

### 2 子育て支援について

- (1) 小学校・中学校の給食費を無償化すべきと考えるが、市の見解を伺う。
- (2) 国民健康保険税の子どもに係る均等割を18才まで減免すべきと考えるが、市の見解を伺う。
- (3) 保育料（0才～2才）を無償化すべきと考えるが、市の見解を伺う。

## 17番 美藤 和広 <一問一答>

### 1 田村市長の公約について

- (1) 地域医療の充実化。
  - (ア) 「市民病院神戸移転、白紙撤回」の定義と今後のスケジュール。
  - (イ) 切迫した急性期医療と産科・24時間救急を市内に維持する方策。
- (2) 子育てのまち三田の復活。
  - (ア) こども医療費の18歳以下完全無償化（無料化）実現の費用予測と財源。
  - (イ) 中学校給食費の無償化（無料化）のスケジュールと小学校給食費の計画。
  - (ウ) 所得制限や自己負担のない三田市独自の5つの無料化事業。
  - (エ) 森前市長が議会で約束された事業の継承。
- (3) 高齢者や障害者にやさしいまちの実現。
  - (ア) 高齢者・障害者への活動助成や支援の詳細。
  - (イ) 認知症サポートの強化事業の詳細。
- (4) 公共交通機関の整備・充実。
  - (ア) 現状の課題認識と対策。
  - (イ) JR・神鉄・神姫バス・タクシーとの連携。

### 2 田村市長の考える「市民本位」について

- (1) 「市民本位」の定義と最終判断。
- (2) 地方分権における市議会と議会提案条例に対する考え。

### 3 「元気な三田」に向けた取り組みについて

- (1) 人口減少危機の現状分析と対策。
- (2) 市の活性化のための経済対策。
- (3) 第三テクノパーク開発計画の進め方。